

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業413社を対象に実施し、312社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成23年10月～12月の実績、平成24年1月～3月の見込み、平成24年4月～6月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成23年12月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	183	140	76.5%
非 製 造 業	230	172	74.8%
計	413	312	75.5%

日銀が1月13日に公表した、北陸の金融経済月報（2012年1月）によると、「北陸の景気は、全体としては持ち直しの動きが続いているものの、一部でそのペースが穏やかになっている。

最終需要をみると、個人消費は消費マインドが改善するもとで、総じてみれば下げ止まっている。住宅投資は弱い動きとなっている。設備投資は総じてみれば穏やかに持ち直している。公共投資は減少傾向にある。

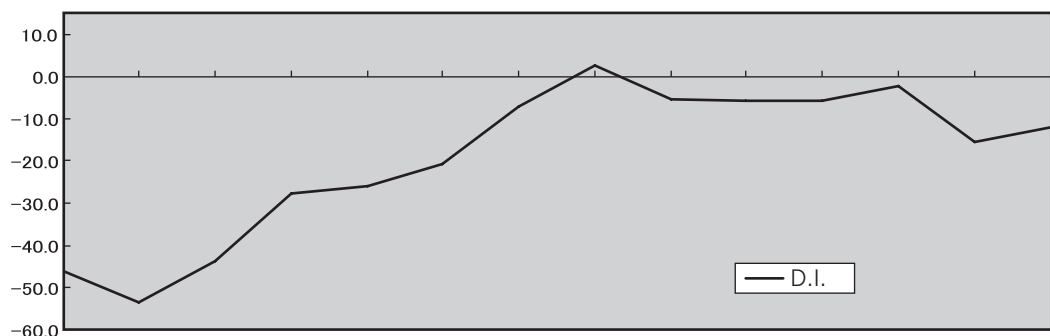
先行きについては、当面、海外経済の減速や円高の影響を受けるものの、その後は、海外経済が新興国に牽引される形で成長率が徐々に高まっていくとみられることから、穏やかな回復経路に復していくとみられる。」としている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良 い	4.4	3.4	3.6	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	8.6	8.3
普 通	44.7	39.8	49.0	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	67.3	71.1
悪 い	50.9	56.8	47.4	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	24.1	20.6
D . I .	-46.5	-53.4	-43.9	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-15.5	-12.3

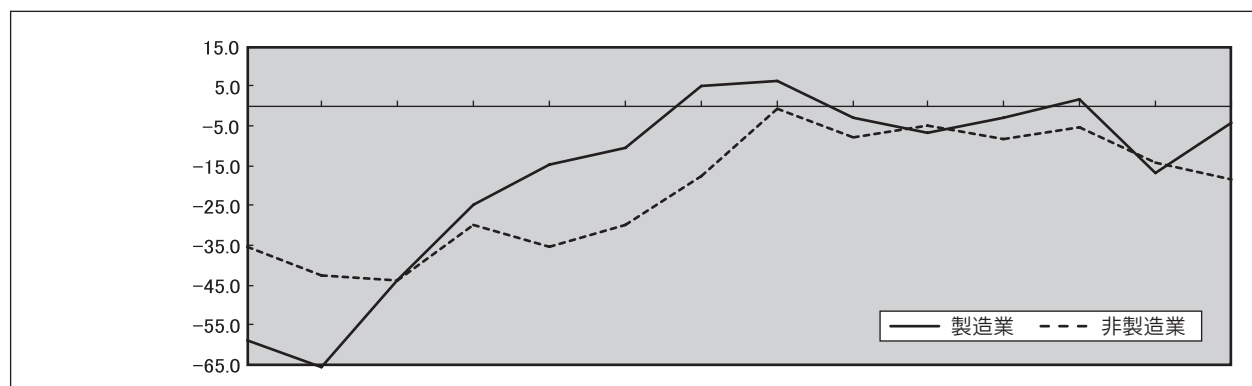


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		（%）												見込	予測
種別	期別	21 年				22 年				23 年				24年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	2.6	0.7	5.7	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	9.6	11.3
普	通	35.5	33.1	44.7	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	63.7	72.9
悪	い	61.9	66.2	49.6	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	26.7	15.8
D . I .		-59.4	-65.6	-44.0	-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-17.0	-4.5

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		（%）												見込	予測
種別	期別	21 年				22 年				23 年				24年	
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
良	い	6.0	5.8	1.8	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	7.7	6.0
普	通	52.5	45.7	52.7	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	70.2	69.6
悪	い	41.5	48.6	45.6	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.0	24.4
D . I .		-35.5	-42.8	-43.8	-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-14.3	-18.5



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」の23年10～12月期実績は▲2.4と前期比3.6ポイント改善した。先行きについて、24年1～3月期のD.I.は▲15.5、24年4～6月期のD.I.は▲12.3と悪化予想となっている。前回調査時より、24年は悪化予想となっており、今回調査でも同様の回答となった。
- (2) 業況判断指数D.I.の23年10～12月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より4.8ポイント改善、非製造業は前期より3.0ポイント改善となった。先行きについて、製造業、非製造業とも24年4～6月期は悪化予想となっている。製造業は1～3月期の悪化ポイント特に高く、非製造業は4～6月の悪化ポイントが高くなっている。

II. 売上高状況

売上高状況

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加	11.8	12.7	10.0	14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	26.8	21.7
横ばい	28.0	24.1	24.9	29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	50.8	60.5
減少	60.2	63.2	65.0	55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	22.3	17.8
D. I.	-48.4	-50.5	-55.0	-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	4.5	3.9

売上高状況 (うち製造業のみ)

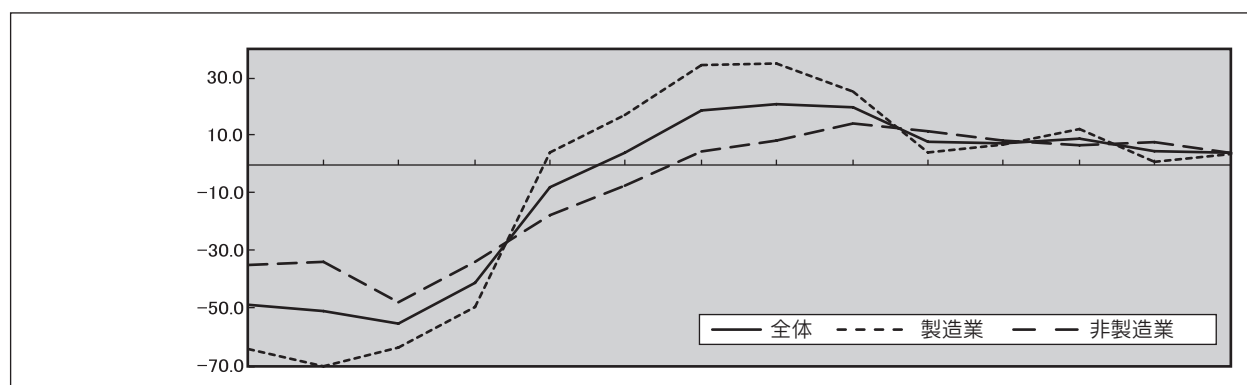
(%) 見込 予測

種別 \ 期別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加	7.8	7.4	7.8	13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	24.6	21.4
横ばい	20.6	15.4	20.6	23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	51.4	60.7
減少	71.6	77.2	71.6	62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	23.9	17.7
D. I.	-63.9	-69.8	-63.8	-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.7	3.7

売上高状況 (うち非製造業のみ)

(%) 見込 予測

種別 \ 期別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
増加	15.2	17.2	11.9	15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	28.6	21.9
横ばい	34.2	31.6	28.6	35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	50.3	60.4
減少	50.5	51.1	59.5	49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	21.0	17.8
D. I.	-35.3	-33.9	-47.6	-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	7.6	4.1



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D. I. は9.1となり、前期より1.6ポイント改善した回答となった。先行きについては、23年4～6月期は3.9と今期より、除々に悪化予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比5.7ポイント改善、非製造業は2.0ポイント悪化となり前回調査と同じ傾向となった。先行きについては、製造業、非製造業とも24年4～6月期に向けて、悪化予想となっている。製造業の悪化ポイントが多くなっている。

Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

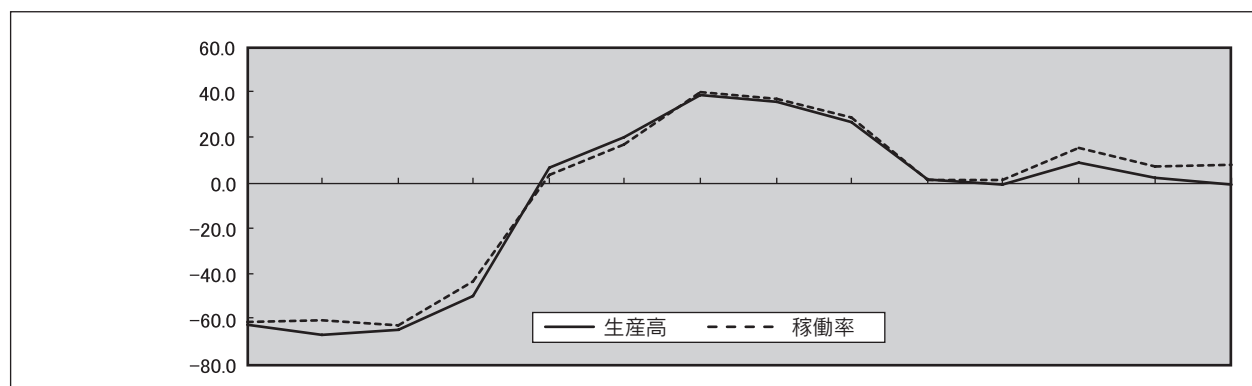
(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
20%以上増加	1.3	0.7	0.0	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	2.9	3.7
20%未満増加	5.9	5.2	7.1	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	23.4	14.8
横ばい状況	22.9	21.6	20.6	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	49.6	62.2
20%未満減少	33.3	32.7	36.2	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	19.7	17.0
20%以上減少	36.6	39.9	36.2	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	4.4	2.2
D . I .	-62.7	-66.7	-65.2	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	2.2	-0.7

稼働率（製造業のみ）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
上 昇	0.7	0.7	0.0	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	5.2	6.0
やや上昇	5.4	6.6	8.1	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.5	16.5
横ばい	26.2	25.0	21.3	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	54.1	62.4
やや下降	30.2	22.4	33.1	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	16.3	12.8
下 降	37.6	45.4	37.5	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.0	2.3
D . I .	-61.7	-60.5	-62.5	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	7.4	7.5



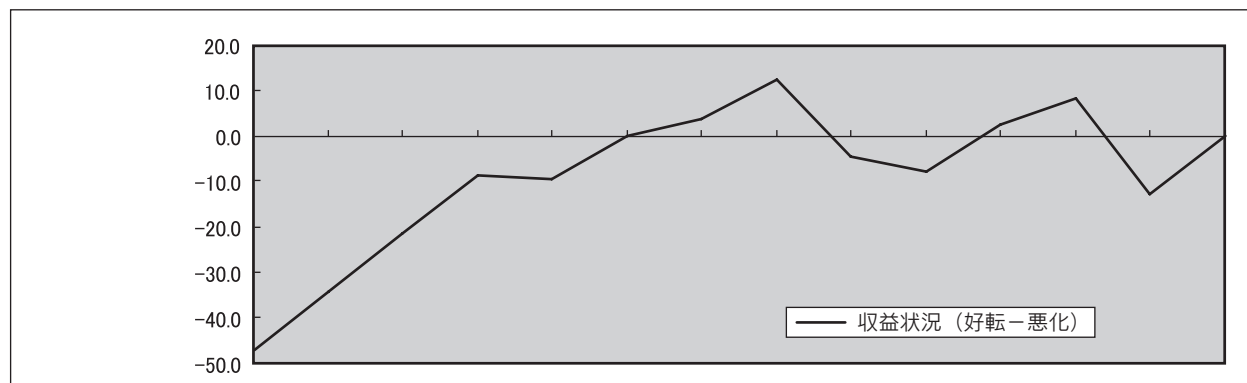
- (1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は8.6となり、前期比9.3ポイント改善となった。先行きについて、生産高状況は24年4～6月▲0.7と悪化予想となっている。稼働率も7.5と8.1ポイント悪化予想となっている。
- (2) 生産高状況の先行きについては、4～6月期にはマイナスポイントとなり、前回予想からも大幅悪化となっている。稼働率についても、10～12月期は改善したが悪化幅が大きくなっている。

IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
好転	5.6	11.1	13.5	17.1	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	11.2	15.9
横ばい	41.9	43.5	51.4	57.2	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	64.7	68.3
悪化	52.5	45.4	35.0	25.7	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	24.0	15.9
D.I.	-46.9	-34.3	-21.5	-8.6	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-12.8	0.0



好転理由

(%) 見込 予測

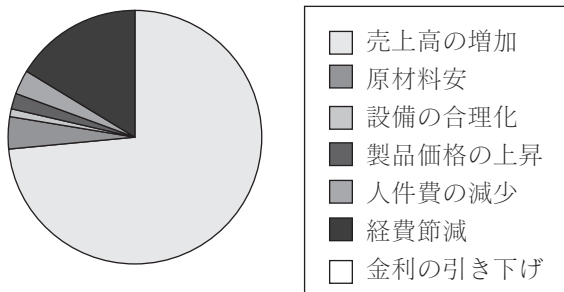
種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
売上高の増加	52.5	49.2	63.9	54.2	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	73.2	66.1
原材料安	12.5	6.6	8.2	11.1	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	0.0	6.8
設備の合理化	5.0	6.6	1.6	2.8	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	1.7
製品価格の上昇	0.0	1.6	0.0	0.0	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	7.3	6.8
人件費の減少	12.5	18.0	11.5	12.5	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.9	3.4
経費節減	17.5	6.4	14.8	19.4	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	14.6	15.3
金利の引き下げ	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

悪化理由

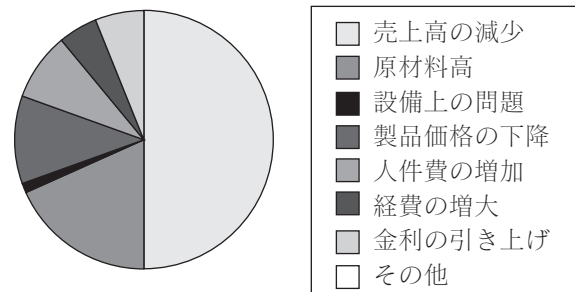
(%) 見込 予測

種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
売上高の減少	68.6	64.9	62.7	68.1	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	61.8	60.0
原材料高	6.3	4.8	3.6	4.2	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	13.7	14.3
設備上の問題	0.8	1.0	1.2	1.7	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.0	1.4
製品価格の下降	12.5	18.3	16.6	14.3	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	10.8	10.0
経費の増大	5.1	5.3	7.7	5.0	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	5.9	5.7
人件費の増加	4.7	4.8	4.1	3.4	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.9	2.9
金利の引き上げ	0.4	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.0	1.4
その他	1.6	0.5	3.6	3.4	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	4.9	4.3

好転理由



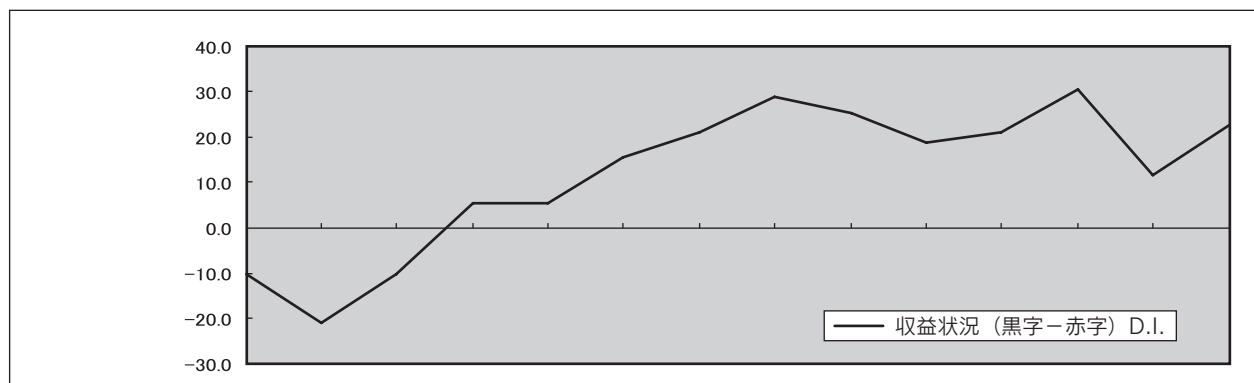
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比5.2ポイント改善した。先行きについては1～3月期はマイナスポイントまで落ち込み▲12.8の見込である。しかし、4～6月期は0.0を予想しており、マイナスポイントからは改善予想となっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、前回調査に比べ、「経費削減」、「原材料安」とするポイントがやや増加した。最も高いポイントとなっているのは、「売上高の増加」となっている。先行きについては、「製品価格の上昇」「人件費の減少」を理由とするポイントが増加している。
- (3) 収益が悪化した理由には、「売上高の減少」とするポイントが高いが、「原材料高」「製品価格の下降」とするポイントも高くなっている。先行きについては、「売上高の減少」ポイントが増加しており、売上減少が懸念される。

収益状況 (黒字－償却後赤字)

種別	(%)													
	21年				22年				23年				24年	
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
黒字	25.0	19.0	23.5	27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	34.2	40.5
収支トントン	39.6	41.1	42.6	51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	43.1	41.8
償却後赤字	35.4	39.9	33.9	21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	22.7	17.8
D . I .	-10.4	-20.9	-10.3	5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	11.5	22.7



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、前期比9.7ポイント改善し、30.6となった。収益状況は改善となってきた。先行きについては今期より悪化予想ではあるが、プラスポイントであり、収益状況は黒字との回答が高い状況となっている。

V. 製品在庫水準

製品在庫水準

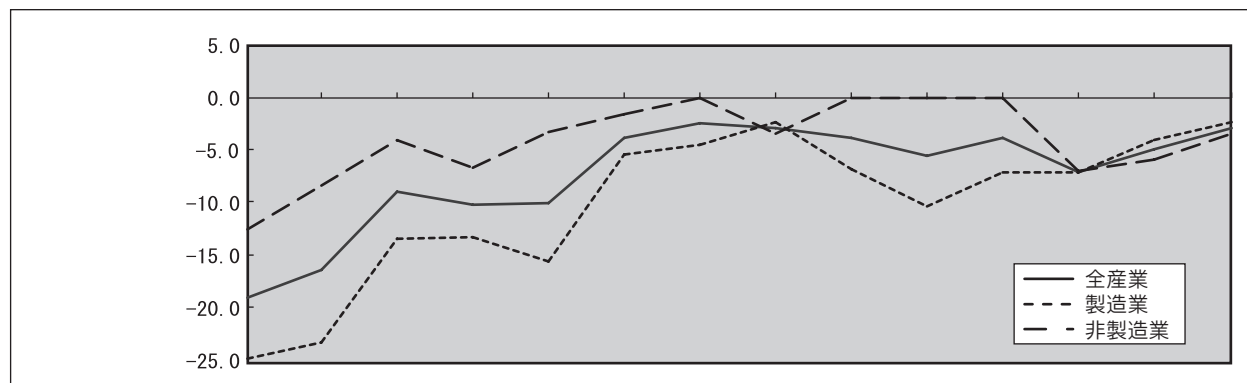
		製品在庫水準 (%)												見込	予測
種別	期別	21年				22年				23年				24年	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
不足		1.5	2.2	3.5	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	1.3	1.7
適正		78.0	79.2	84.0	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	92.4	93.6
過剰		20.5	18.6	12.5	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	6.3	4.7
D.I.		-19.0	-16.4	-9.0	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0

製品在庫水準 (うち製造業のみ)

		製品在庫水準 (%)												見込	予測
種別	期別	21年				22年				23年				24年	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
不足		0.7	2.1	4.5	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	1.6	2.4
適正		73.8	72.4	77.4	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	92.6	92.7
過剰		25.5	25.5	18.0	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	5.7	4.9
D.I.		-24.8	-23.4	-13.5	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-4.1	-2.4

製品在庫水準 (うち非製造業のみ)

		製品在庫水準 (%)												見込	予測
種別	期別	21年				22年				23年				24年	
		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
不足		2.3	2.3	2.4	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	0.9	0.9
適正		82.8	86.8	91.1	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	92.2	94.7
過剰		14.8	10.9	6.5	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.9	4.4
D.I.		-12.5	-8.5	-4.1	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-6.0	-3.5



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、23年10~12月期は前期比3.3ポイント悪化となり▲7.1となった。在庫過剰の回答が続いている。先行きについても、4~6月は▲3.0であり、やや改善予想であるが過剰の予想である。

(2) 業種別では、非製造業が前3期間0.0ポイントであったが、今期は▲7.0との回答となった。製造業、非製造業とも、在庫過剰の回答となっている。先行きについても、製造業、非製造業ともマイナスポイントではあるが、改善予想となっている。

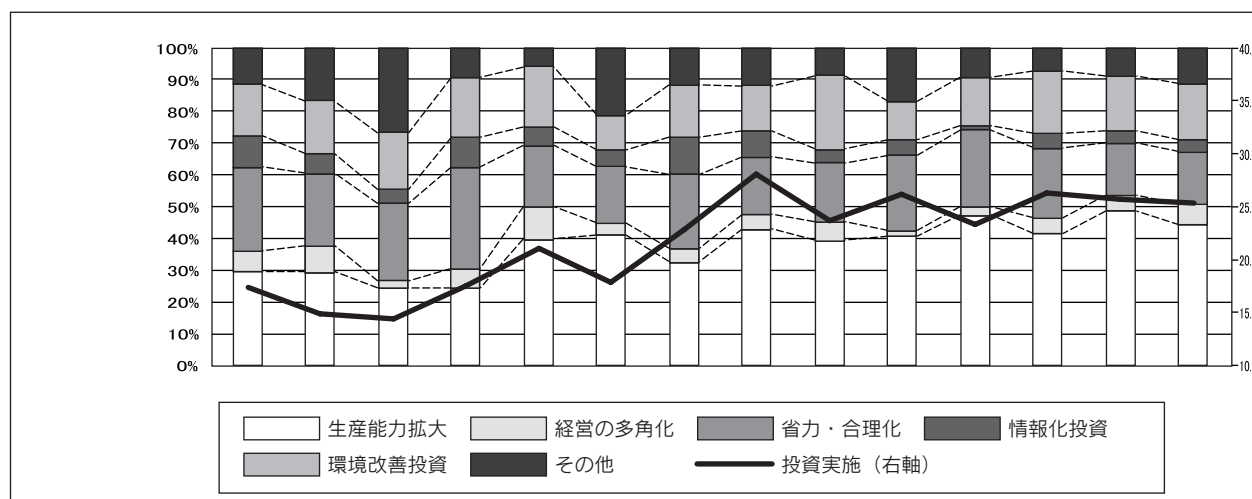
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

期別 種別	21 年												22 年		23 年		24年	
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～				
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月				
投資実施	17.3	14.8	14.4	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	25.6	25.3				
投資せず	82.7	85.2	85.6	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	74.4	74.7				

設備投資の目的（実施先について）

	21 年														22 年		23 年		24年	
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～						
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月						
生産能力拡大	29.5	29.2	24.4	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	48.8	44.3						
経営の多角化	6.6	8.3	2.2	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	5.0	6.3						
省力・合理化	26.2	22.9	24.4	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	16.3	16.5						
情報化投資	9.8	6.3	4.4	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	3.8	3.8						
環境改善投資	16.4	16.7	17.8	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.5	17.7						
その他	11.5	16.7	26.7	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	8.8	11.4						



(1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の26.3%と、前期比3.1ポイント増加した。

先行きについても、約25%の企業が設備の実施を予定している。実施の目的別では、「環境改善投資」「経営の多角化」とするポイントが前期より増加している。最も高いポイントとなっているのは、前期と同じ「生産能力拡大」である。

(2) 業種別では、実施ポイントが高いのは「出版印刷紙加工」「電子部品製造」「医薬品製造」であった。非製造業の「医療福祉」も55.6%実施と高いポイントとなった。

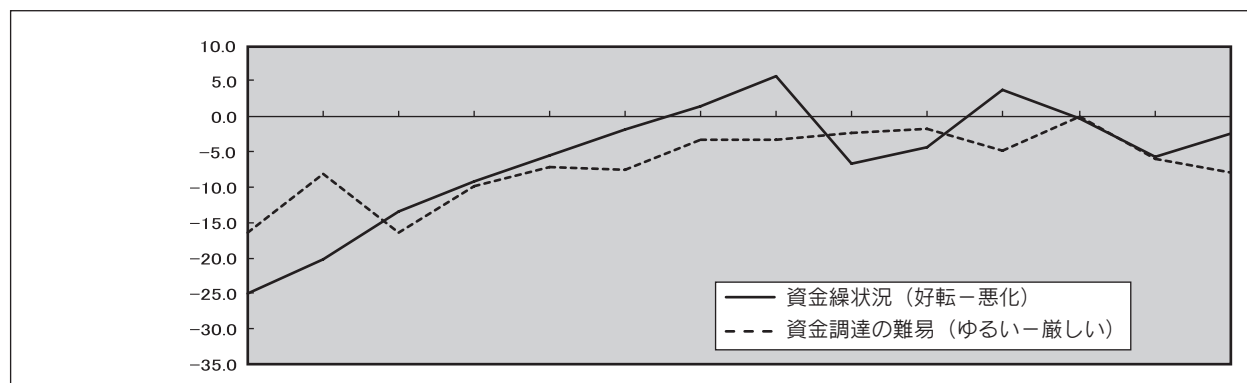
目的別では、医薬品製造では環境改善、電子部品製造では、省力合理化と生産販売能力拡大以外の設備目的も高いポイントとなっている。

VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
好 転	5.0	6.2	7.7	5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.4	8.7
変 わ ら ず	65.0	67.3	71.0	79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	79.5	80.1
悪 化	30.0	26.5	21.3	15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	13.1	11.3
D . I .	-25.0	-20.4	-13.5	-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.8	-2.6



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
ゆ る い	4.4	5.9	5.1	7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	11.4	10.4
厳 しく ない	74.9	79.9	73.3	75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	71.0	71.2
厳 し い	20.7	14.2	21.5	17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	17.5	18.4
D . I .	-16.3	-8.3	-16.4	-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-6.1	-8.0

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、▲0.3と前期比4.0ポイント悪化した。7～9月期はプラスポイントとなったが、再び悪化の回答が高いマイナスポイントとなった。先行きについても、マイナスポイントで更に悪化するとの予想となっている。資金繰りは、1～3月期はマイナスポイントが高く、厳しい予想となっている。

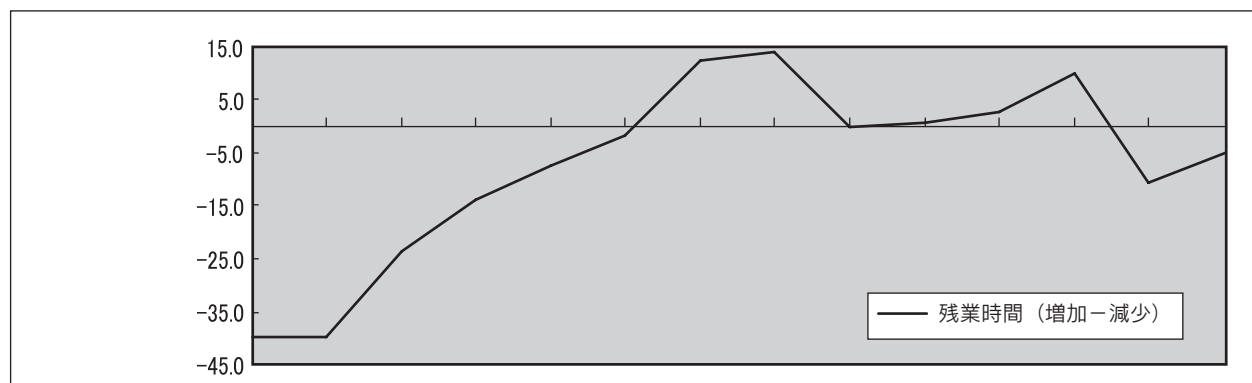
(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、0.0となり、前期より改善した。先行きについては、マイナスポイントであり、悪化予想となっている。業種別で製造業は2.2、非製造業は▲1.8の回答となり、非製造業は厳しいとの回答が高くなった。先行きについては、製造業、非製造業ともマイナスポイントであり、厳しいの予想となっている。

VIII. 労務事情

残業時間

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
増加	6.5	4.3	11.3	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	10.0	9.4
横ばい	47.4	51.6	53.6	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	69.2	76.3
減少	46.1	44.1	35.1	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	20.8	14.4
D . I .	-39.6	-39.8	-23.7	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-10.8	-5.0

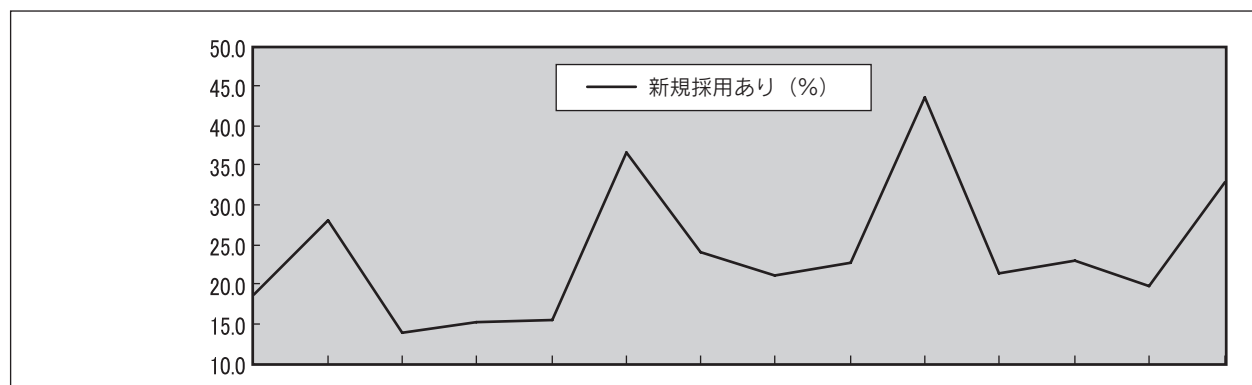


- (1) 残業時間D.I.は24年10～12月期9.9となり、増加のポイントが高くなった。前期比較でも、7.5ポイント増加となった。先行きについては、ポイントは減少予想となっており、残業は減少するものと思われる。業種別の、24年4～6月の予想では、製造業が12.1ポイント、非製造業が17.4ポイント減少見込となった。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

(%) 見込 予測

期別 種別	21 年				22 年				23 年				24年	
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月
全産業	18.6	28.1	14.0	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	19.7	32.9
(うち製造業)	15.0	22.7	10.0	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	16.4	34.3
(うち非製造業)	21.5	32.8	17.4	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	22.4	31.8

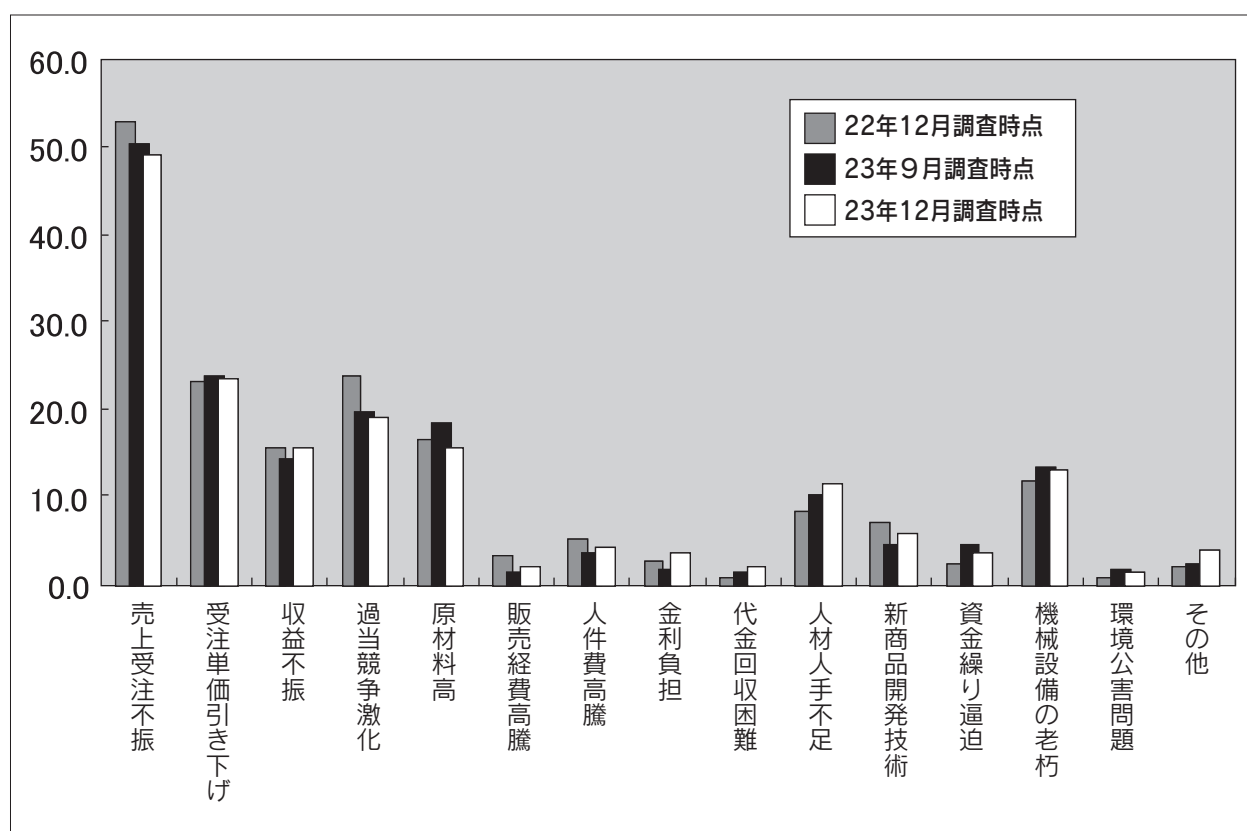


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の22.9%が新規採用を行っている。24年4～6月の予想では、32.9%が新規採用となっており、前年同期実績より10.8ポイント減少となっている。

IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	22年12月 (前回)	23年9月 (前回)	23年12月 (今回)	23年12月		前环比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	52.8	50.5	49.0	(47.9)	(50.0)	-1.5
受注単価引き下げ	23.1	23.8	23.4	(32.9)	(15.7)	-0.4
収益不振	15.4	14.4	15.4	(13.6)	(16.9)	1.0
過当競争激化	23.7	19.7	18.9	(10.0)	(26.2)	-0.8
原材料高	16.4	18.5	15.4	(20.0)	(11.6)	-3.1
販売経費高騰	3.3	1.3	1.9	(0.7)	(2.9)	0.6
人件費高騰	5.0	3.4	4.2	(1.4)	(6.4)	0.8
金利負担	2.7	1.6	3.5	(1.4)	(5.2)	1.9
代金回収困難	0.7	1.3	1.9	(1.4)	(2.3)	0.6
人材人手不足	8.4	10.0	11.5	(8.6)	(14.0)	1.5
新商品開発技術	7.0	4.4	5.8	(10.7)	(1.7)	1.4
資金繰り逼迫	2.3	4.4	3.5	(3.6)	(3.5)	-0.9
機械設備の老朽	11.7	13.2	13.1	(15.0)	(11.6)	-0.1
環境公害問題	0.7	1.6	1.3	(1.4)	(1.2)	-0.3
その他	2.0	2.2	3.8	(3.6)	(4.1)	1.6



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振49.0%(前期比▲1.5ポイント)、②受注単価引下げ23.4%(前期比▲0.4ポイント)、③過当競争激化18.9%(前期比▲0.8ポイント)の順になっている。
- (2) 前期より大きく変化したのは、原材料高(前期比▲3.1ポイント)、金利負担(前期比+1.9ポイント)、売上受注不振(前期比▲1.5ポイント)、人材人手不足(前期比+1.5ポイント)であった。
- (3) 売上受注不振で高いポイントの業種は、出版印刷紙加工、金属製品製造、土木業であった。受注単価引下げでは、アルミ製品、金属製品製造、機械工業であった。

X. 為替変動に対する影響

項 目		見込			予測 (%)	
		23年4～6月	23年7～9月	23年10～12月	24年1～3月	24年1～3月
売 上 高	好 転	0.5	0.7	0.4	0.4	0.7
	悪 化	5.0	7.6	8.5	7.4	7.8
	影響なし	94.5	91.7	91.1	92.2	91.5
仕 入 高	好 転	1.5	4.9	3.0	2.6	2.6
	悪 化	4.5	2.5	3.4	3.8	5.2
	影響なし	94.0	92.6	93.6	93.6	92.1
営 業 利 益	好 転	1.5	3.2	1.9	2.6	2.6
	悪 化	7.1	6.7	8.3	7.2	7.1
	影響なし	91.4	90.1	89.8	90.2	90.2

- (1) 見込、予測については、前期比の予想について回答を求めた。今回270社からの回答があり、売上高については8.9%から影響があると回答があった。うち、8.5%の企業は売上高が悪化したとの回答であった。前期より悪化したとのポイントが0.9ポイント増加した。
- (2) 仕入高については、6.4%が影響ありと回答。うち3.4%が悪化したと回答であった。前期は好転したとの回答が多かったが、今期は悪化ポイントが多くなった。営業利益では、10.2%が影響があるとし、8.3%が悪化したと回答している。営業利益は、悪化したとのポイントが好転を大幅に上回る回答となった。
- (3) 先行きについては、売上高に影響があるとのポイントが減少しており、悪化するとのポイントも減少している。
仕入高に対する影響は、増加しており、悪化するとのポイントが増加予想となっている。